

会 員 インタビュー

循環型社会形成の推進 で環境大臣表彰を受賞

工夫を重ねた自社ブランド

代表取締役 生川好彦氏
エス・エヌ・ケー・テクノ(株)



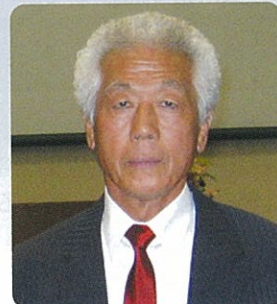
- ①当社の施設は、独自の工夫を重ねた自社開発のプラントで、各種廃油等をセメント焼成用補助燃料として安定供給でき、三重県産業廃棄物税条例に規定する再生施設として認定されており、受託した産業廃棄物の資源化率は98%以上を維持しています。
- ②私達が扱う廃棄物は大切な資源として取り扱うように心がけています。
経営面においても「環境と企業経営は、同軸でとらえる環境経営の推進こそが、地域社会や顧客の信頼を得られ、企業活動が進展する」との考えのもと、「お客様には、安心・安全・確実をお届けします」。
また、「地球環境には、資源化を通じて環境保全に貢献します」の約束をもとに実行しています。

平成20年10月23日(木)～26日(日)に山形県で3R推進大会が開催され、3R推進に功労があった個人、団体、企業が表彰されました。その席で、平成20年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰を受賞された、エス・エヌ・ケー・テクノ(株)代表取締役生川好彦様と、岩谷興産(株)代表取締役岩谷英吉様のお2人にお話を伺いました。

- ①具体的にどのような取り組みが今回の表彰に繋がったと思いますか
- ②御社の社是や経営方針はどのようなものでしょうか

循環型エココンテナを開発

代表取締役 岩谷英吉氏
岩谷興産(株)



- ①従来のコンテナでは、梯子を使ってコンテナ内に入りし整理整頓していたが、冬場には足を滑らせ危険な思いをしていました。安全な作業やコンテナ内の収納を効率良く整理整頓できるのかと試行錯誤していたところ、このエココンテナの開発へと繋がり、従来より20%～30%多く入れることができ、循環型社会形成に役立っています。
- ②特に社是や経営方針はありませんが、お客さんがあつての岩谷興産であつて、人の為に物事をした結果自分の為になる。自分の為になると言う事は、働いていることになり健康に繋がる事にもなると思います。そして社員あつての岩谷興産でもあるのでいつも皆の健康を第一に考えています。

新入会員のご紹介 (平成20年9月1日～12月31日)

会 社 名 阿竹印刷工業(株) 代表取締役 阿竹一之
住 所 四日市市白須賀3-6-15 TEL 059-365-3125
営業の種類 印刷業(賛助会員)

会 社 名 フルハシEPO株式会社 代表取締役 山口直彦
住 所 名古屋市中区三番町4-28 TEL 052-661-1567
営業の種類 産業廃棄物処分業

サン・グリーン(桑名市芳賀ヶ崎1023)
(有)日商環境(津市久居北口町551-5)
中西建設興業(有)(度会郡度会町長原2544)
(有)わかば商事(鳥羽市船津町231-1)
イマヨシ設計(桑名市星見ヶ丘1-209-2)

退会会員

(有)大森クリエート(岐阜県瑞穂市瑞穂736-2)
大河内生コン(有)
(北牟婁郡紀北町海山区河内753-3)
(有)丸惣(津市大里窪田町2627-7)
(有)大明電気(三重郡川越町豊田145-1)

会員の職種 の変更

M&L(株)
賛助会員
↓
正会員(処理業者)

会員の現況 平成20年 12月31日現在

正会員	排出事業者	59
	処理業者	307
賛助会員		26
会員合計		392

M家の住む昭和40年代に作られた団地では、今、ところどころでゴミ問題が発生している。ゴミ問題と言っても幅が広い話で、世間を騒がす新聞ネタのような事から、近所の人とプチプチ言う程度のゴミ問題まで様々なのだが、今回M家が遭遇したゴミ問題とは、プチプチより1ランク上の問題なのだ。

昭和40年代初期といえば、まだ、自家用車を持たない家もあり、車も今と比べるとグンと少ない時代。だから、家の前の道路が狭いなんて考えたこともなかった。バドミントンだって家の前の道路を貸しきりにして、家族でやったものだ。ゴミだって、今ほどたくさん出ない。M家には昔おばあちゃんがいて、家の庭で紙くずを燃やしたりもした。今じゃ、そんなことしたら大変!

贅沢な暮らしになり、冷蔵庫のなかで一生を終えてしまった野菜が、変色しそのままゴミに変化することもしばしば。ゴミは増える一方。あゝ。でもそんな家庭はM家だけではないようだ。近くにある、一般ごみの集積場所。たしかに、ゴミは増え

身近な 環境問題

我が家の ゴミ問題



ている。

大きくなるゴミの山を見て、ごみ集積所を家の前に設置してきてくれた人が悲鳴をあげた。当然だ。10年以上も同じ場所、しかも道路の角地を集積所としていたのだから。大変なのは、ここからだ。次の集積所を探さなければ!新しい団地のように、分譲当初から、ゴミ集積所を設置していない。おまけに、空き地はほとんどない。道は狭い。M家が出していたゴミ集積所にゴミを出す家庭20数件が集まった。「×××××」話はまとまらない。そう、誰だって自分の家の前にゴミは置かれたくない。でも、あまり離れたところにも出しにいきたくない。

市役所の担当者は言う。「住民の皆さんでよく話し合って決めてください!」それが一番困るのだ。話し合うって難しい。私はケンカする息子達によく言ったものだ。「あんた達でちゃんと話し合って仲直りしなさい!」難しいことを言っていたものだ。あゝこの問題いつ解決するのやら...

当協会の新規会員を募集

産業廃棄物処理業界が健全な業界として発展していくために、関係行政機関と緊密に連携を取りつつ、業界の方々が結束することが大切だと考えております。皆様方には「廃棄物処理法」に基づき、三重県知事の許可を受けた個人、法人又は三重県内で産業廃棄物を排出する事業者で本法人の目的に賛同した個人、法人は正会員として、また、本法人の目的に賛同した個人、法人は賛助会員として、是非ご入会をお願い申し上げます。

表紙の写真

宇治橋の架け替え

伊勢神宮は2013年に遷宮を迎える。現在の宇治橋は平成21年1月19日～2月1日が渡り納め。すでに仮橋も完成した。新しい橋は平成21年11月3日に渡り始式がある。

★入会金 10,000円

★会費

排出事業者・収集運搬業

月額5,000円

中間処理業・最終処分業者

月額10,000円

賛助会員 年間50,000円

メール会員募っています!

当協会は、会員皆様への情報連絡をFAXからメールでの情報発信にしていきたいと思ひます。メールでの情報発信にご賛同の方は下記アドレスまでご連絡下さい。
s.kmie@beach.ocn.ne.jp

投稿をお待ちしています!

- ①表紙の写真
- ②会員インタビュー(自薦・他薦)
- ③身近な環境問題(記事・写真)
について皆様からの情報提供、投稿をお待ちしています。
お問合せは、協会事務局まで